

第1巻

まえがき

頁	行数	誤	正
4	上から7行目 2ヶ所	ウィーン版	パリ版
4	上から8行目	ドレスデン版	ドレスデン版 (1860)

《妖精》

頁	行数	誤	正
11	第3幕下から7行目	石像になった	石と化した
11	第3幕下から5～4行目	石像	石
11	第3幕下から4行目	蘇える	蘇る
12	下から12行目	権力	力
15	上から21～22行目	彼がゲールノートとグンターと一緒に立ち去る際、最後の言葉は舞台裏で語られる	彼はゲールノートとグンターと一緒に立ち去り、最後の言葉は舞台裏で語る
21	上から24行目	乙女	乙女たち
29	下から4行目	嘆いたのに！	嘆いていたのに！
49	上から19行目	下さい	ください
51	下から9行目	ゆずります	譲ります

《恋愛禁制》

頁	行数	誤	正
53	第1幕上から7行目	お付令	御触れ
53	第1幕下から4行目	下さい	ください
53	第2幕下から5行目	お付令	御触れ
55	下から17行目	お布令	御触れ
55	下から15行目	お布令	御触れ
55	下から9行目	お布令	御触れ
55	下から7行目	お布令	御触れ
55	下から5行目	お布令	御触れ
56	上から4行目	お布令	御触れ
56	上から5行目	お布令	御触れ
56	下から2行目	2度と入るもんか！	2度と係わるのはご免だ！
57	上から26行目	お布令	御触れ
58	上から9行目	頑々な心	頑な心
61	下から19行目	お布令	御触れ
61	下から17行目	お布令	御触れ
64	下から15行目	1夜だけ	1晩
66	下から13行目	彼が今どう思うと、どうでもいいわ、	彼は、今どう感じていようとも、

66	下から 12 行目	彼は裁判のことなど覚えてないわよ！	もう裁判のことなど眼中にないわ！
66	下から 8 行目	この道化者を見た人は、	このいたずら娘を見たら、
66	下から 7 行目	裁判のことは覚えてはいまい！	裁判のことなど考えられない！
69	下から 5 行目	ゆずらないぞ	譲らないぞ
73	下から 2 行目	お布令	御触れ
73	最下行	お布令	御触れ
74	下から 4 行目	私の罾にはまって	私が仕掛けた罾にはまってもがくがいい、
74	下から 3 行目	自分の愚かさと偽善の故にもがくがいい！	あなたの愚かさと偽善に罾を仕掛けたわ！
75	上から 10 行目	ドラベッラ	ドレッラ
75	上から 12 行目	これは驚いた、	これはおかしいぞ、
75	上から 24 行目	お布令	御触れ
76	下から 19 行目	私の罾にはまって	私が仕掛けた罾にはまってもがくがいい、
76	下から 18 行目	自分の愚かさと偽善の故にもがくがいい！	あなたの愚かさと偽善に罾を仕掛けたわ！
77	上から 20 行目	お布令	御触れ
87	上から 7 行目	お布令	御触れ
87	上から 13 行目	お布令	御触れ
87	上から 15 行目	お布令	御触れ
88	上から 12 行目	私たち同じように	私たちと同じように
89	上から 3 行目	にぎやかに	賑やかに
98	上から 21 行目	お布令	御触れ
98	下から 18 行目	お布令	御触れ
99	上から 2 行目	お布令	御触れ
99	上から 4 行目	お布令	御触れ
100	上から 5 行目	お布令	御触れ

《リエンツイ》

頁	行数	誤	正
101	登場人物 1 行目	、ローマ護民官	(削除する)
101	登場人物 6 行目	枢機卿 Kardinal	枢機卿 Kardinal [注]
101	[注] (を追加)		1842 年検閲によって「ライモンド Raimondo 教皇特使」に変更。
105	下から 19 行目	行こう	来よう
107	下から 12 行目	そして、自由のために祈り始めなさい！	そして準備し、自由の祈りを捧げなさい！
109	下から 4 行目	貴殿は恐ろしい！	恐ろしい復讐心！
109	下から 3 行目	その不名誉を贖うために、	我らの罪滅ぼしのために、
112	フィナーレ 3 行目	1 度に	一斉に
140	上から 15 行目	祝宴を行おう	祝宴となる
140	上から 20 行目	入ってくる	入っていく

141	上から 21 行目	取るに足らないことために	取るに足らないことのために
148	下から 20 行目	お布令	御触れ
148	下から 5 行目	ローマ人として誇り	ローマ人としての誇り
149	下から 17 行目	お布令	御触れ

《さまよえるオランダ人》

頁	行数	誤	正
150	素材 2 行目	(1826)	(1825)
154	オランダ人アリア 5 行目	連れ出すこと	連れ出すこと
154	下から 17 行目	だがどこにもわしの墓場はなかった！	どこにも墓場はなかった！
154	最下行	世界を崩壊させる	いつ轟き渡るのだ、
155	最上行	破滅の雷鳴は、いつ轟き渡るのだ？	世界を崩壊させる破滅の雷鳴は？
164	下から 5 行目	娘たちを外へ追いたて	娘たちを追いたて
170	下から 23 行目	ああ神よ	ああ神よ
176	上から 17 行目	「帆を上げろ！」	「帆を揚げろ！」
178	下から 3 行目	帆を上げろ	帆を揚げろ

《タンホイザー》

頁	行数	誤	正
181	初演 1 行目	(ドレスデン版)	削除する
181	初演 2 行目	オペラ座 (パリ版)	パリ・オペラ座
181	初演 3 行目	(ウィーン版)	削除する
185	下から 4 行目	連れ去られる	渡っていく
187	下から 5 行目	貴女の優しさには感謝して	貴女の優しさゆえに
191	第 2 場の最終行	素早く	瞬時に
191	最下行	5 月が来た	5 月になった
197	下から 17 行目	足下	足元
200	上から 2 行目	客人たちの到着を迎えるために	客人たちを出迎えるために
207	下から 16 行目	称る	称える
208	第 1 行	ヴァルター	ヴァルター
212	最下行	だがローマへ	ローマへ

《ローエングリン》

頁	行数	誤	正
218	登場人物ローエングリン	白鳥の騎士	白銀の騎士
219	右 上から 2 行目	モンザルヴァート	モンサルヴァート
221	下から 8 行目	厳かに数歩	彼は厳かに数歩
243	下から 18 行目	組する	与する

256	上から 17 行目	媚びるように	甘く、優しく
256	下から 9 行目	魅惑するように	魅惑したように
263	下から 5 行目	ああ空気を	ああ息苦しい
263	下から 5 行目	不幸な女に空気を！	不幸な女に一息つかせて！

《マイスタージンガー》

頁	行数	誤	正
269	登場人物バルタザル	Balthasal	Balthasar
270	第3幕上から 11 行目	机の上の紙切れの	机の上の紙切れが
292	下から 19 行目	それは、私たちには世俗のものです。	それは「世俗的」なカテゴリーに属します。
301	下から 5 行目	これは私の可愛い恋人にあげようと思って。	これを私の可愛い恋人にあげるの。
305	下から 9 行目	起きているのか？	起きているんだ？
306	上から 4 行目	それは、私をリラックスさせてくれる、	それは、わたしをリラックスさせてくれる、
306	上から 6 行目	何を言うことか	何を言うことが
306	下から 7～6 行目	ザックスのいる戸口の側に立つ	戸口のザックスの側に立つ
306	上から 8 行目	できなくなるのは嫌だから、	嫌いにならないように、
307	下から 25 行目	ねえ考えて！	えっ！
312	下から 8 行目	得ようとなりました	得ようとなりました
317	下から 6 行目	アダムが脆弱でお前にそそのかされたゆえに	アダムがエーファに唆されたゆえに
323	上から 19 行目	怒って、角を曲がってこちらの方を向く	怒って向きを変え、角を曲がってくる
323	下から 5 行目	来ってくる	やって来る
324	下から 5 行目	わが心躍り	わが心は躍り
327	上から 15 行目	くだばっちまえ	くたばっちまえ
331	下から 8 行目	ミツヒエル	ミヒエル
338	上から 7 行目	こんなんこと初めてだ、いつも優しいけれど！	どんなに優しくたって、こんなんこと初めてだ！
339	上から 21 行目	我々は幻想に悩まされている。	我々は幻想に付きまとわれている、
339	上から 22 行目	そこで大切なのは幻想を正しく導くこと、	そこで大切なのは幻想を正しく導くことだ。
339	上から 23 行目	つまりありふれたやり方ではダメで、	ここで問題になっているのは日常的なことではなく、
339	上から 24 行目	大いに幻想を使うことだ。	幻想が大いに必要とされることだからだ。

第2巻

《ニーベルングの指環》

頁	行数	誤	正
8	素材6行目	ティードレクス・サガ	(ベルンの) ティードレクのサガ

《ラインの黄金》

頁	行数	誤	正
9	巨人族	ファーズルト Fasolt 巨人族	ファーズルト Fasolt
16	下から15行目	ヴォークリンデと	ヴォークリンデ
16	下から5行目	ヴォークリンデと	ヴォークリンデ
18	下から24行目	娘たちのおしゃべりに	娘たちのお喋りに
33	上から2行目	怠け者め	怠け者め！
35	下から3~2行目	ニーベルング族の固まっている所	ニーベルング族が群れている所
45	下から13行目	目に見えない	見えない
46	下から4行目	助け	救い
48	最下行	女性よ	女よ
52	上から16行目	それでは城に挨拶しよう。	それでは城に挨拶しよう、
52	下から22行目	その意味がお前にも明らかとなろう。	その意味がお前に明らかとなろう。
53	上から2行目	聞こえてくるは	聞こえてくるのは

《ヴァルキューレ》

頁	行数	誤	正
54	下から5行目	ジークルーネ	ジグルーネ
55	第3幕下から5行目	燃え上がらせて下さいと	燃え上がらせてくださいと
59	下から12行目	フンディング	フンディング (2人を観察して)
61	下から18行目	復讐を求めました	復讐を仕掛けてきました
65	下から5行目	武器で飾り、世界を	武器で世界を飾り
66	上から2行目	我々の胸深くに隠れていた愛が、	愛が春を誘きよせたのだ。
66	上から3行目	春をおぼき寄せたのだ。	愛は我々の胸深くに隠れていたが、
66	上から4行目	今や愛は春の光に	今や春の光に
66	下から17行目	まいってしまいます	まいっています
69	上から19行目	ホイヨートーホー！ ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！ ホイヨトホー！
69	上から20行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
69	下から9行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
71	上から12行目	無視なさる	蔑ろになさる
71	上から23行目	あなたが、ふしだらな愛から生まれた娘たちを連れて	私は悲しみに沈んで耐えねばならなかったわ！
71	上から24行目	戦場に行ってしまった時に、	あなたが戦場に行ってしまったから、

71	上から 25 行目	私は悲しみに沈んで耐えねばならなかったわ！	ふしだらな愛から生まれた娘たちとね。
72	上から 23 行目	同情して	心を打たれているように
72	上から 28 行目	取り上げて下さい	取り上げて下さい
73	上から 23 行目	声をひそめて	声を曇らせて
73	下から 20 行目	ヴォータン	フリッカ
73	下から 4 行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
74	上から 2 行目	ホイヨートーホー！ ホトヨーハー！	ホイヨホートヨ！ ホトヨハー！
74	第 1 場終わりから 4 行目	急いで	足早に
75	上から 14 行目	もの思い	物思い
76	上から 21 行目	我々神々に	常々
76	上から 22 行目	我々の法律で制圧された男たち	我々神々の法律に縛られていた男たち
77	下から 19 行目	自分がつくづく厭になった、	見出すのは自分ばかりで吐き気がする、
77	下から 18 行目	自分がすることに吐き気をもよおすのだ。	自分のする事なす事においてな。
77	下から 17 行目	わしが熱望するもの、	わしは他のものが欲しいのだ、
77	下から 16 行目	それを作り上げることはできないのだ。	だがそれに出会うことは決していない。
79	下から 10 行目	立ちつす	立ち尽くす
89	上から 7 行目	シュヴェールトラウテ	シュヴェールトライテ
89	上から 13 行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
89	上から 17 行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
90	上から 8 行目	ホイヨーホー！ ホイヨーホー！	ホイヨホー！ ホイヨホー！
90	上から 10 行目	ジークルーネ	ジグルーネ
90	上から 11 行目	売っているの	売っていたの
90	上から 13 行目	ジークルーネ (ジークルーネの声、	ジグルーネ (ジグルーネの声、
90	上から 19 行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
90	上から 24 行目	ジークルーネ	ジグルーネ
90	下から 22 行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
90	下から 18 行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
90	下から 10 行目	ジークルーネ	ジグルーネ
90	下から 7 行目	ジークルーネ	ジグルーネ
90	下から 2 行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
91	上から 2 行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
91	上から 8 行目	ジークルーネ	ジグルーネ
91	上から 16 行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
91	下から 15 行目	ジークルーネ	ジグルーネ
91	下から 14 行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
91	下から 7 行目	ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！
92	上から 7 行目	ジークルーネ	ジグルーネ

92	上から 20 行目	ジークルーネ	ジグルーネ
92	上から 21 行目	ジークルーネ	ジグルーネ
92	上から 22 行目	ホイヨートーホー！ ホイヨートーホー！	ホイヨトホー！ ホイヨトホー！
94	最上行	ジークルーネ	ジグルーネ
94	上から 15 行目	ジークルーネ	ジグルーネ
95	上から 20 行目	ジークルーネ	ジグルーネ
96	上から 7 行目	いつかあなたに報酬を与えるでしょう！	いつかあなたに返礼として微笑むでしょう！
97	下から 23 行目	知ったものは	知った者は
98	上から 4 行目	最愛の娘	希望の娘
98	上から 14 行目	最愛の娘	希望の娘
98	下から 13 行目	あなたはかつて私に与えて下さったものを	かつて私に与えてくださったものを
99	下から 10 行目	足もと	足元
104	上から 3 行目	神であるわしよりもっと自由な者だから！	神であるわしよりもっと自由な男なのだから！
104	上から 10 行目	この目をわしは微笑みかけながらよく優しく撫でたもの	この目をわしは微笑みかけながらよく撫でたものだ、
104	上から 11 行目	だ、わしが口づけをすると、お前が戦う気を起こし、	わしが口づけをすると、お前が戦う気を起こし、
104	上から 17 行目	[世界を支配するという]荒々しい野心は消え	世の中を楽しみたいと思って、
104	上から 18 行目	世の中を楽しみたいと思ったものだ！	この世を獲得するという野心は消えた！
104	上から 20 行目	この目よ、別れの口づけに際し	わしを元気づけておくれ、
104	上から 21 行目	わしを元気づけておくれ！	別れの口づけに際して！
104	上から 22 行目	どうかこの目の星が	いつか幸運な男に
104	上から 23 行目	いつか幸運な男に輝きかけんことを！	どうかこの目の星が輝きかけんことを！
104	下から 4 行目	それでわしはお前を捕えた。その時と同じように今日お	かつてわしはお前を捕えたが、今日はお前の自由には
104	下から 3 行目	前を捕えるぞ！ 燃え上がれ、揺らぐ炎よ！	させないぞ！ 燃え上がれ、揺らぐ炎よ、

《ジークフリート》

頁	行数	誤	正
115	最上行	ミーメ	ミーメ (そっけなく)
118	下から 12 行目	巨大な	莫大な
127	上から 7 行目	ハーハイ	ハハイ
127	上から 13 行目	ハーハイ	ハハイ
127	上から 18 行目	ハーハイ、ホーホー、ハーハイ！	ハハイ、ホーホー、ハハイ！
127	上から 20 行目	ハーハイ	ハハイ
127	下から 20 行目	ハーハイ	ハハイ
129	上から 4 行目	ハーハイ	ハハイ

129	上から 6 行目	ハーハイ	ハハイ
129	上から 11 行目	ハイアーホー！ ハーハイハー！	ハイアホー！ ハハ！ ハハーイハー！
129	上から 16 行目	ハイアーホー！ ハイアーホー！ ハーハイ！	ハイアホー！ ハイアホー！ ハハイ！
129	下から 22 行目	ハーハイ	ハハイ
129	下から 20 行目	ハーハイ	ハハイ
129	下から 15 行目	ハイアーホー、ハハ、ハーハイハー！	ハイアホー、ハハ、ハハーイハー！
129	下から 10 行目	ハイアーホー！ ハイアーホー！	ハイアホー！ ハイアホー！
152	上から 15 行目	住みか	住み処
155	最下行	喋る	囁る
159	上から 10 行目	さすらい人の	さすらい人
159	上から 20 行目	ハーハイ	ハハイ
161	下から 21 行目	勇気が出る	勇気を出せる

《神々の黄昏》

頁	行数	誤	正
169	第 3 幕 3 行目	娘たちは彼に指環を	娘たちは彼の死を預言し指環を
171	上から 20 行目	姉妹よ	妹よ
171	下から 8 行目	姉妹よ、綱を紡いで歌いなさい！	姉さん、綱を紡いで歌ってください！
172	下から 23 行目	姉妹よ	姉さんたち
173	上から 27 行目	指示したこと	教えたこと
176	下から 19 行目	役に立ちませんよ	役にも立ちませんよ
177	下から 19 行目	それ以上に貴重なものはないそうだな？	彼がその最高に貴重な宝を所有している そうだな？
177	下から 17 行目	その貴重なものを	その宝を
187	上から 11 行目	ヴァルトラウテ	ヴァルトラウテ (陰鬱に)
195	下から 19 行目	私が戻ってきたのがわかりましたか？	戻ってきましたよ！
195	下から 6 行目	2 人	お 2 人
199	上から 9 行目	2 人	お 2 人
199	上から 24 行目	2 人に良き夫婦生活を与えて下さる	お 2 人に良き夫婦生活を与えてくださる
208	上から 9 行目	グートルーネ	グンター
225	上から 6 行目	広間にも今にも	広間に今にも

《トリスタンとイゾルデ》

頁	行数	誤	正
226	登場人物下から 2 行目	Junger Seemann	Ein junger Seemann
227	第 3 幕上から 2 行目	カレオル	カレオル城
251	上から 14 行目	ブランゲーネ	ブランゲーネ (聞き耳を立てて)
251	下から 18 行目	聞き耳をたてる	聞き耳を立てる

262	下から 11 行目	恐怖に怯えてお目覚めくださるように	お目覚めくださるよう、恐るおそる
267	上から 16 行目	大丈夫	無事
267	下から 17 行目	最も辛い裏切りで	私の心を傷つけた、
267	下から 16 行目	私の心を傷つけることになってしまった！	敵意に満ちた裏切りで！
267	下から 15 行目	欺こうとしたのなら	欺いたのなら
267	下から 10 行目	挽回されるのだと！	守られるのだと！
268	上から 4 行目	今やあらゆる榮譽の砦である	あらゆる榮譽の砦である
268	上から 5 行目	トリスタンがそれらを失ってしまった！	トリスタンがそれらを失ってしまった 今！
268	下から 16 行目	宮中や国中で、	領民がこぞって
268	下から 15 行目	領民がこぞって	宮中や国中で、
268	下から 4 行目	策略と優しさによる	お前の強要にも、
268	下から 3 行目	お前の脅しにも、	策略と善意によって
268	最下行	するとトリスタンよ、	するとトリスタンよ、ついにお前は私 を脅した、
269	最上行	ついにお前は私を脅した、	宮廷も国も
269	上から 2 行目	宮廷も国も	絶対に相続しないと、
269	上から 3 行目	絶対に相続しないと、	王のために花嫁を迎えに
269	上から 4 行目	王のために花嫁を迎えに	遣わして
269	上から 5 行目	遣わしてくれない限り！	くれない限り！
269	上から 9 行目	だから、そのような女性に相見え、	そのような女性に相見え、
269	上から 13 行目	自らを果報者と呼ぶしかないのだ。	何と果報者であろうか！
269	上から 20 行目	私の心を	私の心の渇きを
269	上から 21 行目	元気にしたであろう女性、	癒したであろう女性、
269	下から 21 行目	か弱くむき出しのところ、	か弱く剥き出しのところ、
269	下から 17 行目	不運な子よ、	どうして私のそのようなところに、
269	下から 16 行目	どうして私のそのようなところに、	不運な子よ、
269	下から 9 行目	忠義を奪う毒を！	忠義を奪い、
269	下から 8 行目	どうして私の心を	私の心を
269	下から 7 行目	猜疑心で満たすのだ？	猜疑心で満たす毒を！
269	下から 3 行目	我が榮譽の終末を迎えるのが、お前の目的 だったのか？	我が榮譽の終末を迎えるようにするた めにか？
270	最上行	どんな苦しみをもってしても贖うことので きないような恥	どんな苦しみをもってしても購うこと のできないような
270	上から 2 行目	辱を、なぜ私に与えたのか？	恥辱を、なぜ私に与えたのか？
272	上から 3 行目	城塞	城砦
273	下から 19 行目	カレオル	カレオル城
274	上から 22 行目	カレオル	カレオル城
278	下から 24 行目	真面目な	誠意のこもった

284	上から 22 行目	ふっらふらと	ふらふらと
-----	-----------	--------	-------

《パルジファル》

頁	行数	誤	正
291	素材 4 行目	『パルツィヴァル Parzival』	『パルツィヴァル Parzival』および『ティトゥレル Titurel』
291	登場人物	4 人の小姓の下に 1 行挿入	丸天井からの声 Eine Stimme aus der Höhe……………アルト
292	第 3 幕下の注	ゴート領スペイン北部	スペイン北部
310	下から 4 行目	逃げてきたんだ	逃げ出したんだ
317	上から 13 行目	花を咲かせて、	花を咲かさせて！
317	最下行	花を咲かせて！	花を咲かさせて！
321	1 行目	そしてある朝	そして朝になると
321	上から 4 行目	あんたの父さんが亡くなり愛を失ってしまったから。	あんたの父さんが死んで愛を失ったから。
323	上から 3 行目	讚嘆	贊嘆
335	上から 3 行目	こう叫びたい！	そう叫びたい！
335	上から 11 行目	祝福を受けた者よ！	祝福を受けた方よ！

奥付

頁	行数	誤	正
339	2 巻とも井形略歴 3 行目	『アッティタ、フン族の王』	『アッティラ、フン族の王』

*この正誤表は書籍版に対応しております。(電子書籍版は修正済です)